

令和2年度 食料生産地域再生のための先端技術展開事業 社会実装促進業務一覧

分野	研究実施機関(コンソーシアム) (下線は代表機関を示す)	拠点名	主な社会実装内容	主な普及目標 (H29→R2)
農業分野	三県連携農業コンソーシアム (国研)農業・食品産業技術総合研究機構 (東北農業研究センター) 岩手県農業研究センター 宮城県(農業・園芸総合研究所、古川農業試験場) 福島県(農業総合センター) (公社)岩手県農産物改良種苗センター	中核拠点	<ul style="list-style-type: none"> 各拠点の総括、各拠点への技術情報の提供、技術指導による支援 成果発表会、農業関連イベントへの出展、HPの活用を通じた研究成果の発信 など 	各拠点が掲げる達成目標に対する支援
		福島県拠点	<ul style="list-style-type: none"> オープンラボでのセミナー等の開催、視察受け入れ(約300人/年) 展示園を活用した技術指導の実施 普及指導員、営農指導員等と連携した農家への技術指導の実施、講習会の開催 コーディネーター(普及0B)による農家への技術指導、新規導入農家の掘り起こし 技術導入農家の販売実績等による収益性の調査・分析 など 	<ul style="list-style-type: none"> 電照栽培技術によるコギク生産技術 53戸(3.0ha)→80戸(6.0ha) トルコギキョウを核とした花きの栽培技術 12戸(0.6ha)→80戸(4.0ha) ナシの早期成園化技術 62戸(5.9ha)→70戸(7.5ha) 性選別精液による定時人工授精技術 3戸(44頭)→10戸(100頭) など
		宮城県拠点	<ul style="list-style-type: none"> オープンラボでのセミナー等の開催、視察受け入れ(約500人/年) 展示園を活用した技術指導の実施 普及指導員、営農指導員等と連携した農家への技術指導の実施、講習会の開催 コーディネーター(普及0B)による成果技術に関する情報提供、視察見学の受入、普及状況や課題の把握 技術導入農家へのヒアリング等による収益性の調査・分析 など 	<ul style="list-style-type: none"> 大区画圃場におけるプラウ耕乾田直播技術 460ha→1,000ha イチゴクラウン温度制御技術 0.6ha→4ha キャベツ等露地野菜の低コスト安定生産技術 4ha→15ha ブドウ「シャインマスカット」栽培技術 2.8ha→5ha など
		岩手県拠点	<ul style="list-style-type: none"> オープンラボでのセミナー等の開催、視察受け入れ(約1,000人/年) 展示園を活用した技術指導の実施 普及指導員等と連携した農家への技術指導の実施、講習会の開催 普及指導員等と連携し新規導入農家の掘り起こし 展示園における生産コストや作業時間の計測等による収益性の調査・分析 など 	<ul style="list-style-type: none"> 鉄コーティング湛水直播等の省力化技術 1,218ha→2,000ha イブキジャコウソウ被覆による法面省力管理技術 16,000㎡→30,000㎡ 施設野菜における環境制御技術 7経営体(0.8ha)→37経営体(5.8ha) 醸造用ブドウの省力垣根仕立て栽培技術 1カ所(0.5ha)→5カ所(5ha) など

分野	研究実施機関(コンソーシアム) (下線は代表機関を示す)	拠点名	主な社会実装内容	主な普及目標 (H29→R2)
農業 分野	<u>福島県</u>	福島県拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・タマネギ及びキャベツ機械化体系、複合環境制御によるイチゴ収量増加技術、ブドウ「シャインマスカット」の根域制限栽培システムの展示ほ場の設置・運営や研究成果技術に成果技術に関する情報発信活動、セミナー開催等による推進活動など。 ・各技術の展示ほ場を活用した検討会の開催、管内農業者に対する研究成果技術の普及推進活動の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タマネギ 機械化栽培体系の導入 24戸 (15ha) →29戸 (34ha) ・キャベツ 機械化栽培体系の導入 1戸 (3ha) →3戸 (15ha) ・イチゴ 複合環境制御による増収技術 28戸 (5.3ha) →45戸 (10.2ha) ・ブドウ 「シャインマスカット」の根域制限栽培システム 3戸 (0.3ha) →13戸 (1.35ha)

分野	研究実施機関(コンソーシアム) (下線は代表機関を示す)	拠点名	主な社会実装内容	主な普及目標 (H29→R2)
水産業 分野	水産業先端技術の社会実装共同研究機関 (国研)水産研究・教育機構 (<u>東北区水産研究所、中央水産研究所、瀬戸内 海区水産研究所、水産大学校</u>) 岩手県水産技術センター 宮城県水産技術総合センター 福島県(水産海洋研究センター、水産資源研究所、 内水面水産試験場) (公財)福島県栽培漁業協会 福島県内水面漁業協同組合連合会 海洋エンジニアリング(株) 東京大学 いちからコーポレーション	中核拠点	<ul style="list-style-type: none"> 各拠点の総括、進捗状況の管理と推進 各拠点への技術的サポート など 	各拠点が掲げる達成目標に対する支援
		福島県拠点	<ul style="list-style-type: none"> 研究成果発表会の開催 オープンラボでのパネル展示 現地研修の実施 商談会の開催(アユ) など 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した操業支援システム 低・未利用魚介藻の有効利用技術 アユ放流用種苗の効率的な生産技術 など <p>※平成30年度からの実証研究であるため、目標値は設定しない</p>
		宮城県拠点	<ul style="list-style-type: none"> オープンラボでの漁業者、食品加工業者等への相談対応 東京と大阪での漁業関連イベントへの出展 普及指導員による漁協等での研修会の開催 品質維持管理・向上を図る技術指導 飲食店、消費者等を対象としたポスター等による知名度向上 など 	<ul style="list-style-type: none"> シングルシード採苗技術、未産卵一粒カキ・潮間帯干出カキの養殖技術 2県漁協支所→5県漁協支所(南三陸町他) あまころがき8万個以上の生産・販売 ギンザケEIBS感染履歴検査法 民間種苗生産場 9→12 高成長系ギンザケの生産技術 高成長系種苗出荷 0トン→5トン 高成長系発眼卵 0万粒→20万粒 ツノナシオキアミの自己消化酵素を利用した魚味噌製造技術 2企業→4企業 (気仙沼市等)
		岩手県拠点	<ul style="list-style-type: none"> オープンラボでの講演会の開催、HPの活用 漁協への技術指導(年36回) 技術導入者へのヒアリング、販売実績の確認等による収益性の調査・分析 水産関連イベントへの出展 水産加工業者を対象とした加工技術の現場指導 など 	<ul style="list-style-type: none"> アワビ種苗生産効率化技術 0施設→4施設 アワビ漁獲データ等に基づいた資源管理技術 2漁協→6漁協 資源有効利用食品の加工技術 0企業→1企業